

定点観測展

時間の経過がうつしだすもの

A fixed point observation

2016/11/17^木-12/10^土

桐蔭学園アカデミウム ソフォスホール

開館時間 = 10:30-17:30(最終入館 17:00) 入場無料

休館日 = 日曜・祝日

主催 = 学校法人桐蔭学園

協力 = 前橋文学館 / 彩鳳堂画廊 / 大林組 / 日本宇宙フォーラム

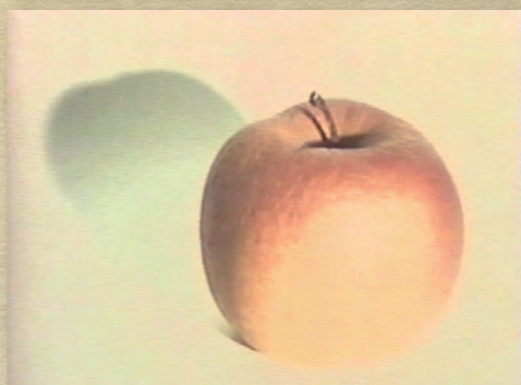
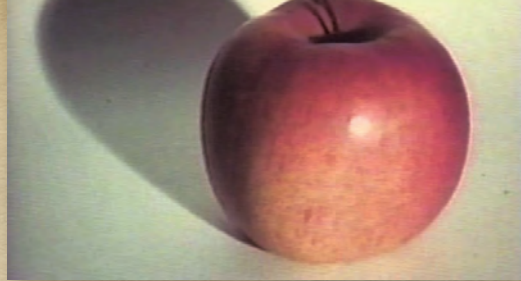
TOIN GAKUEN ACADEMIUM

桐蔭学園アカデミウム

神奈川県横浜市青葉区鉄町 1614

TEL.045-975-2100 <http://toin.ac.jp/ma>

萩原 朔美 《TIME 時の指紋》 1970-1971 年





小松透《METRO'S》

「定点観測展」開催にあたって

学校法人桐蔭学園 理事長 平岩 敬一

定点観測——みなさんが身近に感じるものとして、あさがおなどの植物を決まった位置からカメラで撮影し、成長していく過程をコマ送りにした映像があげられると思います。またこの時期、夜空を見上げるとひときわ目立つのがオリオン座です。日時によって少しずつ違う位置に見える星の動きを、同じ場所から記録し観察することも定点観測のひとつとっていいでしょう。そして地域の公共施設や郷土資料館では、街並みの今と昔とを写した写真が、並んで展示されているのを見たことがあるかもしれません。

定点観測の意味を調べると、「ある一定の地点から継続的に観察し、以前のものと比較してその差異を分析すること」とあります。こうした変化の記録は、特に科学の分野においては、後世にいたるまで非常に有用な資料となります。一方、叙情的な面では、被写体——景色や人物など——の変化から見える時の流れに、物語を感じたり、郷愁を覚えたりすることもあるのではないのでしょうか。

本展では定点観測の手法を用いて作品を制作している作家や写真家の作品をはじめ、さまざまな「定点観測」作品を展示します。繰り返し写された被写体から、時間の経過によって生まれる差異や変化に気づく楽しさを知ってほしいと思います。

また、東日本大震災の被災地をとらえた作品も展示します。私たちの記憶から少しずつ薄れつつある3.11のその後を、定点撮影された写真を通してみなさんに伝えたいと思います。

時間の経過をとらえた作品に、みなさんは何を感じるでしょうか？ あたりまえのように過ぎていく“時間”に意識を向けて、定点観測の奥深さに触れてみましょう。

定点観測展

時間の経過がうつつだすもの

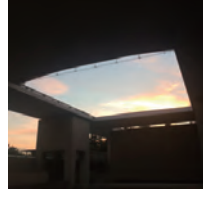
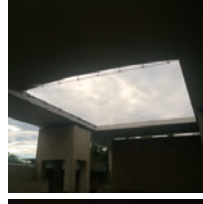
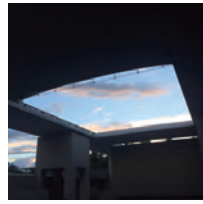
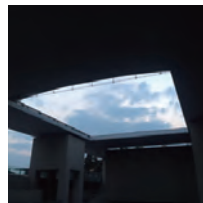
萩原朔美/小松透/齋藤大輔/水野暁/

東京スカイツリー®/陸域観測技術衛星「だいち」他

齋藤大輔《石巻市定点撮影》門脇町・南浜町



萩原朔美《電車に万歳した日》



《桐蔭学園アカデミウム エントランスからの空の景色》



2011.5.7



2016.5.6

津波により甚大な被害を受けた門脇町、南浜町。海岸の防波堤を越えて約7mの津波がー帯に押し寄せた。ほとんどの住宅や建物は水没し、津波に押し流された自動車から火災が発生し、一昼夜燃え続けた。現在では被災した建物の撤去が完了し、区画整理のための造成が行われている。

桐蔭学園アカデミウム 交通のご案内



- 【各駅からバスをご利用ください】所要時間約15分
- ・東急田園都市線 青葉台駅より「桐蔭学園前」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園前」下車
- ・東急田園都市線 市が尾駅より「桐蔭学園前」行、終点。または「青葉台駅」行、「桐蔭学園前」下車。または「柿生駅北口」行、「桐蔭学園入口」下車
- ・小田急線 柿生駅より「桐蔭学園」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園入口」下車

【タクシーご利用の場合】
東急田園都市線 青葉台駅、または小田急線 柿生駅から便利です。行き先は「桐蔭学園 鉄(くろがわ) 神社前」とお伝えください。
※駐車場はございません。お車のご来館はご遠慮ください。